

登録コード:MH158300 開講年度:2026		授業科目区分	助産師コース 必修
科目名	助産学概論【20M～24M】 Introduction to Midwifery		
担当教員	中込 さと子		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/3年 前期(集中) 火曜・3時限 火曜・4時限		
単位数、講義室	1単位	保健学科221講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健		
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。	⇔	性と生殖をめぐる人々の体験に対する尊厳・全人的理解に即したケアを考究する。
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。	⇔	特別な課題を持つ女性と新生児に対する助産師のケアと倫理的配慮について考究する。
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	⇔	母子のエンパワメントのためのコミュニケーションの基礎となる理論を学ぶ。
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。	⇔	助産師専門職の国内外の法と倫理指針を学び、助産師業務の基本的態度を学ぶ。
	MH23カリ・保健・看護		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。 ≪科学的探求力≫変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔ 性と生殖をめぐる人々の体験に対する尊厳・全人的理解に即したケアを考究する。生殖医療、遺伝ゲノム医療、周産期医療に関するEvidence based Medicine & Midwifery, Narrative based Medicine & Midwiferyに基づく実践理論を学ぶ。 ⇔ 助産師専門職の国内外の法と倫理指針を学び、助産師業務の基本的態度を学ぶ。	
授業で学べる「テーマ」	地域運営、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	本講義は、専門職としての助産師の意義や役割、法的責任について学び、さらに助産業務を効果的に遂行するための管理の基本について学びます。 本授業は、担当教員の母子保健における助産師としての実務経験を活かして講義を行います。また、助産師資格取得の必須科目として開講します。 本講義は、「遺伝と病気」「母性看護概論」「母性看護健康論」「母性看護方法論」「ヒューマンセクシュアリティ」を既習得を前提に講義をします。そして他の助産師コース関連科目の基盤になります。		
授業計画	第1回（4月14日3限）助産師の定義と役割（保助看法・ICM・WHO）、助産師と倫理、基本となる概念 第2回（4月14日4限）母子保健の動向／健やか親子21施策 第3回（4月21日3限）SRHR／生殖補助医療 第4回（4月21日4限）出生前検査／Universal Health Coverage 第5回（4月28日3限）コンコーダンススキル（講義） 第6回（4月28日4限）コンコーダンススキル（講義） 第7回（5月12日3限）コミュニケーション・コンコーダンス法 ロールプレイ 第8回（5月12日4限）コミュニケーション・コンコーダンス法 ロールプレイ 授業アンケート実施 第9回（8月10日）期末レポート提出		
授業の進め方	第1～2回：反転授業とします。文献検索と資料収集を行い、講義内では学んだこと、疑問に思ったことを発表しましょう。 第3～4回：助産師が関わる倫理的課題を学び、助産師の役割について考察しましょう。 第5～8回：コミュニケーションについて学びます。第7,8回はロールプレイを行う予定です。		
テキスト、教材、参考書	テキスト： ①助産学講座1 助産学概論（第5版），医学書院，2022. ②安保 寛明／武藤 教志；コンコーダンス、患者の気持ちに寄り添うためのスキル21，医学書院，2010. ③ユネスコ：国際セクシュアリティ教育ガイダンス【改訂版】——科学的根拠に基づいたアプローチ，明石書店，2020. 参考図書 参考書：国民衛生の動向、母子保健の主なる統計、助産師業務要覧（日本看護協会出版会）、看護六法など。		
成績評価の方法	最終評価は、ロールプレイ30% 期末レポート70%で総合的に評価します。		

成績評価の基準	判定評価は、下記の通りとします。 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：可とします。 課題に対するプレゼンテーションおよび課題（グループ発表と期末レポート、ロールプレイ）については、（i）問題の設定が適切であり、（ii）その問題の背景を説明できており、（iii）その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、（iv）それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、（v）その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。（i）から（v）の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」、4項目までできていれば「やや上にある（良）」、3項目までできていれば「水準にある（可）」とします。
事前事後学習の内容	本授業の単位習得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間（2時間×7.5回）+自己学習時間30時間（4時間×7.5回）＝45時間 各回の講義の事前事後学習は60分程度。参考資料は必携テキストと図書館等で資料を収集しましょう。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	助産師の役割を深く理解して欲しいと思います。質問や相談にはいつでも応じます。 中込のメールは以下のとおりです。（snakagomi@shinshu-u.ac.jp） オフィスアワーは曜日を固定していません。メールでアポイントの連絡をください。個別に日時を合わせます。研究室は保健学科棟中校舎3階にあります。